

科目名		衛生学特論	
科目責任者 辻 真 弓 (衛生学 教授)			
開講時期:	1～2年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 45 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>自然環境、人工環境、労働環境における諸問題に関する基礎知識を身につけ、我々を取りまく環境側の要因の把握およびその影響についての理解を深める。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 健康、障害、疾病の概念を説明できる。 2) 健康に影響を与える環境要因について概説できる。 3) 環境と健康・疾病との関係(環境と適応、環境基準、環境影響評価等含む)を概説できる。 4) 環境発がん物質、内分泌攪乱物質等が健康と生活に与える影響について概説できる。 5) 物理的因子(気温、気湿、気圧、騒音、電磁波等)が生活環境に与える影響を概説できる。 6) 地球環境の変化、生態循環、生物濃縮と健康の関係を概説できる。 7) 食中毒の原因と対策、食品添加物、残留農薬などの安全評価を概説できる。 8) 産業保健(労働関係法規を含む)を概説できる。 			
● 評価方法	プレゼンテーション内容20%、討議への参加度30%、課題レポート50%で総合評価する。		
● 参考文献	講義の中で必要に応じ紹介する。		

授 業 項 目 (内 容)
環境と生体影響
環境測定と健康障害
環境リスク評価の考え方
生物学的モニタリング
環境発がん物質
職業がん
職業性アレルギー疾患
小児環境保健
金属中毒の歴史、現状、機序
物理的因子による健康影響
食中毒の原因と対策、食品衛生
環境保全と地球環境汚染
社会構造と健康、疾病との関係
分子疫学的手法、研究デザイン
環境中毒学的アプローチ